産業実務演習Ⅱ

科目ナンバリング　CAE-208
選択　　2単位

山中　左衛子

1. 授業の概要（ねらい）

訪日外国人の激増に伴う空前の観光ブームの中、SNSの発展が利用者の選択に大きな影響を与えています。また少子高齢化による労働力不足は、AIの導入を加速させています。

この演習では、宿泊業、飲食業、旅客業、エンターテインメント業など、ホスピタリティ産業のビジネスから、それぞれの興味に沿って自由にテーマを選び、グループに分かれて自主研究を行います。

サブテーマとして、企業人にとって必須の「伝える力」を磨く時間を設けます。企業では業種にかかわらず、顧客応対、商談、マスコミ対応、上司への報告・相談、説明、その他のあらゆる場面で、口頭であるいは文書やメモ、メールで伝えることが求められます。伝える力は回数を重ね、フィードバックを受けることで必ず向上します。そこでさまざまな話題で「発言する」ことからはじめ、主にホテルビジネスでの社内外の場面を想定したケーススタディなど、前期は主に「話す力」を、後期は主に「書く力」を養います。

なおゲストスピーカーを招くことがあります。

2. 授業の到達目標

（1）ホスピタリティ産業の課題を見つけ、改善のきっかけを提案する力が身につきます。
（2）伝える力が向上します。

3. 成績評価の方法および基準

出席は必須です。発表（評価割合40%）、授業内レポート（評価割合20%）、
リアクションペーパー（評価割合20%）、授業への貢献（評価割合20%）により評価されます。

4. 教科書・参考文献

教科書

適宜資料を配付します。

5. 準備学修の内容

事前に資料を配付されたら、読んでおきましょう。

6. その他履修上の注意事項

グループワークが中心になるため、出席は必須です。
受講者の上限は、演習の性格上25名を目途としますので、受講を希望する人は、
初回のオリエンテーションに出席願います。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション
【第2回】　自己紹介、テーマを持ち寄る、グループ分け
【第3回】　テーマを決める、グループ分け
【第4回】　グループごとの調査・研究①
【第5回】　グループごとの調査・研究②
【第6回】　グループごとの討議①
【第7回】　グループごとの討議②
【第8回】　伝える力①
【第9回】　グループごとの中間発表
【第10回】　グループごとの調査・研究③
【第11回】　グループごとの調査・研究④
【第12回】　グループごとの研究発表
【第13回】　伝える力②
【第14回】　まとめ
【第15回】　全体総括